

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
104-86	小学校	音楽	音楽	第5学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
27 教芸	音楽 504	小学生の音楽 5		

1. 編修の基本方針

豊かな未来を音楽でつむぐ

デジタル技術の進歩や、それに伴う社会の変化によって、子どもたちが新しい音楽に出会う機会は増えています。

音楽的な見方・考え方を働かせることによって、子どもたちが生活や社会の中の音や音楽と、より豊かに出会ったり、音楽の授業を通して、より豊かな音楽体験をしたりすることができるように、以下の3点を柱として、この教科書を編修いたしました。

① 子どもたちの心が動く。～主体的、協働的な学びを促す

子どもたちの「やってみたい」という意欲が自発的に生まれるように、学習の目当てやヒントとなるキャラクターの吹き出しを充実させ、子どもたちが主体的に学習を進めることができるようにしました。



② 子どもたちの思考が働く。～音楽科の確かな学力を育む

「歌う」「演奏する」「つくる」「聴く」という音楽科特有の学習活動を進めながら、音楽科における「知識・技能」の習得や「思考力・判断力・表現力等」の育成も着実に進めることができるように、教材や文章の示し方を工夫しました。



③ 音楽を生きていく力に。～生涯にわたって、豊かに音楽に親しむ態度を養う



身の回りにある音や音楽と、学校の授業で学習する内容とを結び付けることによって、音楽の学びを自分の人生に活かせるような人間に育ててほしい、という願いから、身の回りの事象を教材化したり、「体験型」の鑑賞学習などを取り入れたりすることで、子どもたちが実感をもちながら、それらの音や音楽のよさやおもしろさを感じ取ることができるように配慮しました。

1 子どもたちの心が動く。～主体的、協動的な学びを促す

① 子どもたちの学習意欲を引き出します。

ナビゲート役として、親しみやすいキャラクターが登場します。彼らの吹き出しがヒントになり、「この学習では、何に気付いて、何を工夫していくのか」ということを捉えやすくしているため、子どもたちの「やってみたい」という意欲が高まります。

このページの構成要素:

- キャラクター:** ムーブ (鼠) と げんき、ひな、まなぶ、つばき (4人の子供)。
- 音楽:** 「このほり」の楽譜と歌詞。リズム練習、メロディ練習、歌詞練習。
- ストーリー:** 「このほりのお話」 - 「このほり」の由来と、5月5日(端午の節句)に由来する習わし。
- 学習活動:**
 - リズムの練習: 次のリズムを聞いて、リズムが定まらずにちがいがあってもいいことを話し合おう。
 - メロディの練習: ①のメロディを聞いて、リズムを聞いて、メロディを覚えて歌おう。
 - 歌詞の練習: 歌詞の練習をしながら、発音と声をとらえて歌う練習をしよう。
- ヒント:** 歌詞の練習をしながら、発音と声をとらえて歌う練習をしよう。

P.14・15

② 魅力あふれる教材や学習活動によって、ワクワク感を引き出します。

協動的な学びを深められるように、楽曲に関する情報や学習の流れに関する情報を提示し、主体的に学習に取り組みながらも、音楽との出会いが豊かなものになるよう配慮しました。

このページの構成要素:

- 動画:** 歌手のライブパフォーマンス。
- ストーリー:** 「鳥の歌」の由来と、鳥の歌の魅力を伝えるためのヒント。
- 学習活動:** 歌詞の練習、リズムの練習。

P.44 ~ 48

日本語の歌曲との出会いを、より豊かなものにするために、表情豊かに歌う演奏家の写真をきっかけとして、歌詞の背景や、音楽を聴き深めるためのヒントを示しました。

このページの構成要素:

- 動画:** 歌手のライブパフォーマンス。
- ストーリー:** 「鳥の歌」の由来と、鳥の歌の魅力を伝えるためのヒント。
- 学習活動:** 歌詞の練習、リズムの練習。

このページの構成要素:

- 学習活動:** 歌詞の練習、リズムの練習。
- ヒント:** 歌詞の練習をしながら、発音と声をとらえて歌う練習をしよう。

2 子どもたちの思考が働く。～音楽科の確かな学力を育む

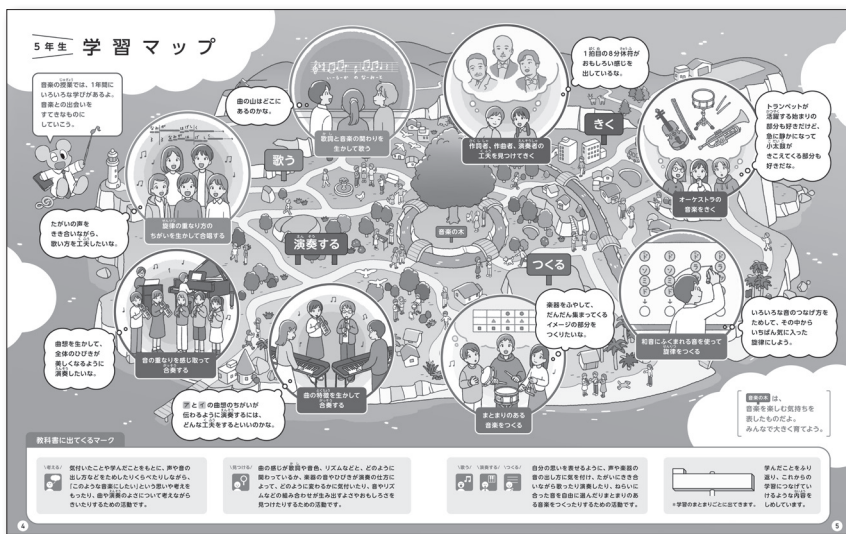
① 学習内容を見える化することによって、子どもたちの思考を刺激します。

「音楽に対してもった自分の思いをどう表現するのか」「この音楽のよさはどこにあるのか」といった「思考・判断・表現」や「知識」に関わる内容を意識しながら表現や鑑賞の学習を進めることができるように配慮し、子どもたち一人一人が学習の目当てをつかみやすいよう、「考える」「見つける」「歌う」「演奏する」「つくる」のアイコンを示しました。

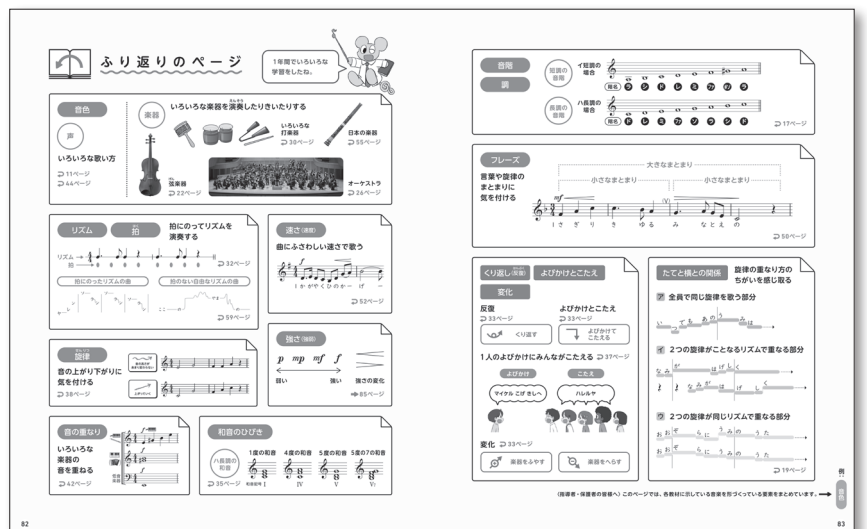


② 見通しをもった学びの実現

子どもたちが学習の見通しを立て、意欲をもって学習に取り組むことができるように、各学年の冒頭に「学習マップ」のページを設けました。また、それぞれの学年で学習する音楽を形づくっている要素をまとめて確認することができる「ふり返りのページ」も掲載しています。



P.4・5

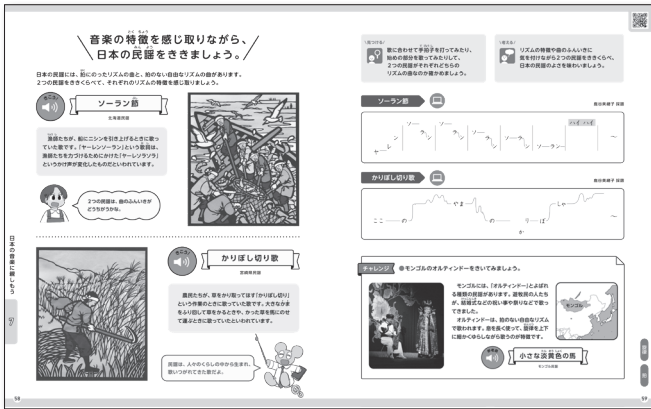


P.82・83

3 音楽を生きていく力に。～生涯にわたって、豊かに音楽に親しむ態度を養う

1 我が国や地域に伝わる音楽や文化を尊重する態度を養う。

次世代の音楽文化や地域文化を担う子どもたちの育成という観点から、地域に伝わる音楽の取り上げ方を工夫し、音楽を身近に感じながら鑑賞することができる教材や資料を取り上げました。



P.58 ~ 61



2 音楽的視野や価値観を広げる。

心豊かな生活を営むことができる社会の実現に寄与する態度を養うという観点から、音や音楽に対する考え方を広げたり深めたりすることができる特集や、地球環境に対する意識を高める歌唱教材などを取り上げ、音楽活動を通して、自分の生活との関わりを考えることができるように配慮しました。



P.70

新井節子さんが紹介する 音楽と社会をつなぐテクノロジー

クラシック音楽のコンサートなどに聞かれるお話をしています。

音楽の歴史は、いつもテクノロジーとつながって発展してきました。人間は、自然に耳に届く音から音楽を創りだして、音楽をなすための道具「楽器」をテクノロジーによって生み出しました。「音楽は人と人をつなぐ、心を繋げる力を持っています。ここには最先端のテクノロジーの力を加えたら、時間や場所がなくなり、一人一人の思いをこめて、音楽のどこどこが広がるとも広がるのではないのでしょうか。

夢をかなえるピアノ

思うように弾けず悩んでいました。そんな時に「ピアノで自分の夢をかなえたい」という夢をも、自分で弾ける手帳サイズの楽器の音響を必要に応じて、練習を続けていました。「この小さな楽器をかなえたい」という思いから、第1弾でひくことができる特別ピアノが開発されました。

このピアノでは、1本の鍵盤で複数の音を出し、その人が練習をおすすめするプログラムと連動して音楽とペダルが自動で弾いてくれます。またピアノの音質を再現することもできます。もちろん、この一人の少女のためだけに開発されたピアノですが、今では、他の子どもたちもお手紙を寄せて、だれもが楽しめる楽器となりました。

音楽のいろいろな楽しみ方

ある音楽からは、どんな状況でも持続可能な音楽を目指して、最先端のテクノロジーによらない、その音楽を立ち上げました。

例えば、その最先端のテクノロジーの動きを同時に見ることができるとしたら、それは、鍵盤をさすハンマーが振動しながら音を発生する仕組みが一目で分かります。

インターネットを通じてそうする分音ロボットというものがあります。子育てや忙しい人によって出せない人、行きたいところに行けない人たちが、社会に参加するための「分身」です。ある音楽では、実際にこの分音ロボットを制作して、家族や友達と一緒に演奏を楽しんでいました。

自分のソングから分音ロボットを作るとき、手を動かさず、勝手に見たい音を出せることができます。自分の分音ロボットを通じてコンサートに参加した人は、音楽を楽しんでいただけでなく、感情や音のレポートを書いてSNSで発信しました。社会の中で自分の仕事や役に立っているという実感。この分音ロボットがきっかけになっています。

分身ロボットがつなぐ社会

P.2・3

特に意を用いた点

国歌「君が代」の尊重

国歌「君が代」への意識を高められるよう、すぐに開くことができる最終ページに配置しました。

国際理解教育の観点から、自国のみならず、他国の国歌も尊重する態度を養えるように、国歌を歌ったり聴いたりするときの一般的なマナーについて触れています。

国歌 「君が代」

君が代は、千代に八千代に、さざれ花の、いわねなりて、このまをすて

たがいの国歌を尊重しよう
わたしたちだけではなく、世界中の他の人々たちも、自分の国の国歌を大切にしています。自分の国の国歌を大切にすると、他の国の国歌を尊重することが大切です。

●国歌を歌ったり、聴いたりするときは、静かにして聴いたり歌ったりします。国歌や国歌に由来する音楽を尊重する態度を、身につけていくことが大切です。また、静かに聴いたり歌ったりすることが大切です。国歌を歌ったり聴いたりするときの一般的なマナーについて触れています。

2019年 READY STEADY TOKYO (準備完了)

P.86・87

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭口絵	テクノロジーによって音楽と社会を結び付けることができると知り、幅広い知識や教養を身に付け、音楽を通して主体的に社会と関わり合おうとする態度を養えるようにしました。(第一号、第三号)	P.2・3
心をつなぐ歌声	作者が曲に込めた「信じることの大切さ」を感じ取ることによって、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。(第三号)	P.8・9
①歌声をひびかせて心をつなげよう	他者への敬愛の気持ちを高められる教材を掲載しました。(第三号)	P.10・11
	リズム、強弱などの観点から曲の特徴について調べ、それを生かした表現ができるようにしました。(第一号)	P.15
②音の重なりを感じ取ろう	短調の音階について、器楽の学習活動を通して無理なく習得することができる教材を掲載しました。(第一号)	P.16・17
	2つの旋律の重なり方を理解し、互いのパートをよく聴き合って歌う活動を通して、協力を重んずる態度を養えるようにしました。(第三号)	P.18・19
	弦楽器やその音色に関する知識を得られるようにしました。(第一号)	P.20～23
③いろいろな音のひびきを味わおう	パートの重ね方を工夫しながらアンサンブルをする学習活動を通して、創造性を培えるようにしました。(第二号)	P.24・25
	様々な打楽器の音色を生かしたリズムアンサンブルをつくる学習活動を通して、創造性を培えるようにしました。(第二号)	P.30～33
④和音のひびきの移り変わりを 感じ取ろう	長調の和音について理解し、その響きの移り変わりを感じ取りながら歌ったり演奏したり、旋律をつくったりする学習活動を設定しました。(第一号)	P.34～39
⑤曲想の変化を感じ取ろう	いろいろな音楽の要素や歌詞の内容が曲想を生み出していることを知り、それを生かして歌ったり合奏したりする学習活動を設定しました。(第一号)	P.40～43
⑥詩と音楽との関わりを味わおう	作詞者、作曲者、演奏者それぞれの工夫に気付く学習活動を通して、著作者や演奏者の労作を重んずる態度を養えるようにしました。(第二号)	P.46～48
	自然の風景が醸し出す情緒を感じ取る学習活動を通して、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養えるようにしました。(第四号)	P.50～53
⑦日本の音楽に親しもう	我が国の伝統的な楽器による音楽や、古くから伝わる歌に親しむことを通して、伝統と文化を尊重する態度を養えるようにしました。(第五号)	P.54～61
⑧思いを表現に生かそう	自分の思いを込めて歌ったり演奏したりする学習活動を通して、自他の敬愛の精神を養えるようにしました。(第三号)	P.62～65
歌いつごう 日本の歌	季節や自然にまつわる歌を歌うことを通して、自然を大切にすることを養えるようにしました。(第四号)	P.66・67
みんなで楽しく	合唱や合奏で互いのパートをよく聴き合って演奏する活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。(第三号)	P.68～81
国歌「君が代」	国歌「君が代」と同じく、他国の国歌も尊重することを通して、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにしました。(第五号)	P.86・87

編修趣意書

(学習指導要領との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
104-86	小学校	音楽	音楽	第5学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
27 教芸	音楽 504	小学生の音楽 5		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

① 主体的な学びや協働的な学びの充実

●主体的な学びを促すために、学習の手立ての示し方や教材配列を工夫するとともに、これまでに学んできたことを踏まえながら、友達との対話を通して学びを広げたり深めたりすることができるように配慮しました。

① 歌唱教材と音楽づくり教材を関わらせた教材配列により、子どもたちの学びがつながり、主体的に学習に取り組むことができるようになりました。

和音のひびきの移り変わりを感じ取りながら、
旋律をつくりましょう。

「静かにねむれ」の和音で旋律づくり

② グループに分かれて、作詞者、作曲家、演奏者それぞれがどのような工夫をしているか見つけ、それらをクラス全員で共有することによって、音楽への理解が深まるように工夫しました。

持ちほりけ

工夫を見つけよう

作詞者 北原白秋さんの工夫は？

作曲家 山田耕伴さんの工夫は？

演奏者 歌い手や伴奏者の工夫は？

詩を声に出して読んでみよう

歌ってみよう

さいたり、まわたりしてみよう

見つけるポイント

- 1～5番に共通するリズム
- 本人の気持ちや書かれている意味
- 七五調の音数のリズム など

見つけるポイント

- 歌謡のリズム
- 音のよがり下がり
- くり返される旋律のまとまり など

見つけるポイント

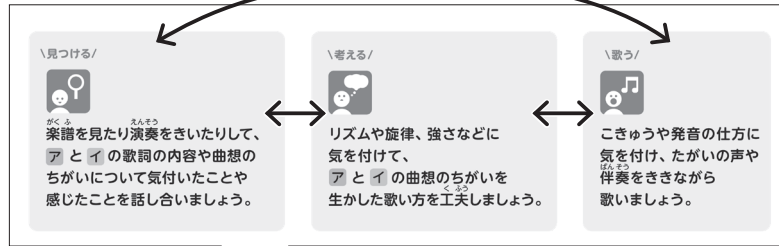
- 気持ちを表す言葉の使い方
- 懐疑、羨望、後悔などの変化の表現
- 曲の山の表現 など

見つけたポイントは、クラスみんなで伝えようといひ。

2 子どもたちの音楽的な見方・考え方がより働く構成

●子どもたち一人一人が感じ取った音楽のよさについて、自分の言葉で語ったり表現したりすることができるようになってほしいという思いで構成しました。

活動文は、「考える」「見つける」「歌う、演奏する、つくる」の、それぞれの内容に関連させながら、学びを広げたり深めたりすることができるようにしました。



題材名

学習目標

【題材の最初のページ】

P.40・41

5 曲想の変化を感じ取ろう

それを感じるために、楽譜を見たり演奏をきいたりして、気づいたことを話し合おう。

曲想の変化を感じ取って、
明るい声で歌いましょう。

夢の世界を

楽譜と歌詞の例が示されています。歌詞には「ほほえみかわしてかたきりあいにー」などがあります。

SAMPLE

活動文

「見つける/」「考える/」「歌う/」の活動文が、楽譜の各部分に配置されています。

「歌声ルーム 3 言葉の発音」のコーナーがあり、「ほほえみかわして」の発音練習が紹介されています。

P.42・43

題材のねらい

この題材で何を学ぶのか、どのような学習をするのかを示しました。

学習のまとめ

この題材で何を学んだのかを振り返り、これからの学習につなげるための内容を示しました。

【題材の最後のページ】



歌声ルーム① 11ページ

P.37

「おもいだそう」コーナーの設置

以前学習したことをもう一度確かめ、その内容を、新たな学習で生かせるようにしました。

3 特別支援教育やユニバーサルデザインの視点

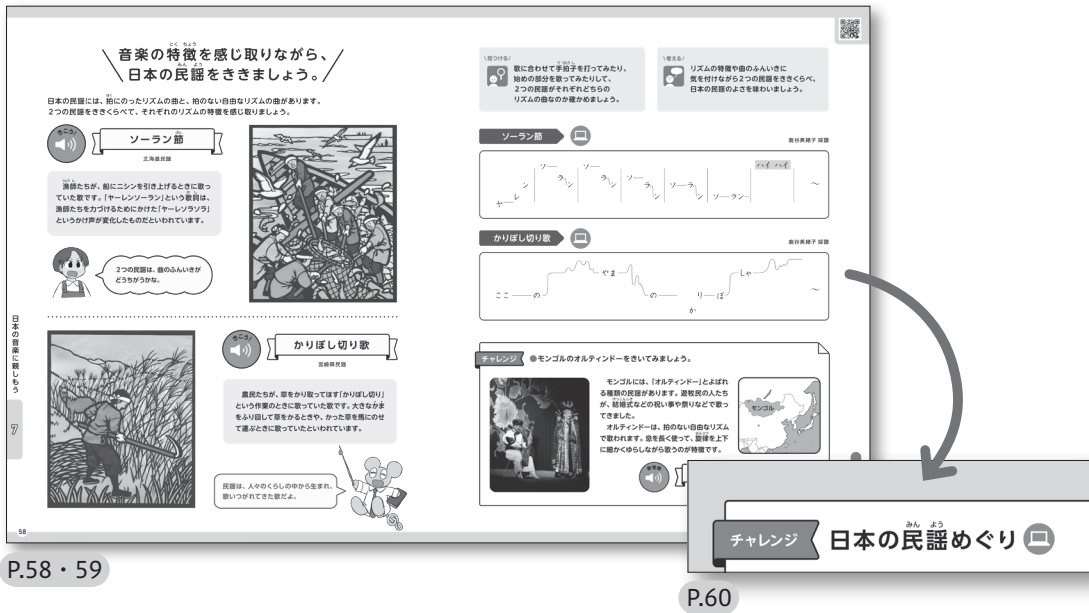
- 楽譜や縦書き歌詞、活動文については、無地や単色の部分に配置するなど、読みやすさを確保しています。さらに、写真やイラストの上の文字については、デザイン性を考慮しつつ、文字の見やすさにも配慮しました。

背景と文字の色にコントラストを付けて、歌詞の視認性を高めています。



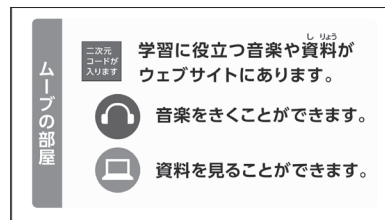
4 郷土の音楽を大切にしている心情を育てる教材

- 生活との関わりが深い民謡の比較鑑賞を通して、日本の民謡に親しむとともに、子どもたちの興味・関心に応じて調べ学習ができる資料ページも設けました。



5 ICT 機器の活用への対応

- 全ての歌唱・器楽教材で、MIDIによる音源を聴くことができます。また、音楽づくりや鑑賞の学習をサポートするコンテンツも準備しました。



6 教科書の特徴

基本事項	教育基本法の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ●教育基本法第二条の「教育の目標」を達成するため、次のような点を重視して編修しました。 ①主体的、協働的な学びを促す。 ②音楽科の確かな学力を育む。 ③生涯にわたって、豊かに音楽に親しむ態度を養う。
	学習指導要領の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ●学習指導要領に示された音楽科の目標を踏まえ、指導すべき内容を網羅しました。
内容	系統性	<ul style="list-style-type: none"> ●児童の発達段階を考慮して、6年間を見通した学習プログラムである「題材」を各学年に設定し、題材のねらいに即した教材を配列して系統的な学びを実現できる内容としました。
	配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ●学習をスムーズに進められるよう題材及び教材を配列し、学習内容の分量も適切になるよう配慮しました。
	学習意欲・主体的な学習態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> ●目次とは別に、歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞の学習内容について、1年間の学びを俯瞰できるページを設けました。(P.4・5)
	歌唱教材	<ul style="list-style-type: none"> ●児童の声域や心身の発達段階を考慮して、音域や難易度、歌詞の内容を吟味しました。
	器楽教材	<ul style="list-style-type: none"> ●児童の発達段階を考慮して、段階を踏みながら確実に演奏技能を習得できるようにしました。
	音楽づくり教材	<ul style="list-style-type: none"> ●学習の手順を分かりやすく示すとともに、吹き出しなどで児童の考えや工夫の視点を例示することによって、児童の「思いや意図」をどのように生かすのかが分かるように工夫しました。
	教材のユニバーサルデザインへの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●児童の発達段階に応じて、多くの児童が無理なく取り組める音域や難易度の中で教材を選択・開発しました。
	鑑賞教材	<ul style="list-style-type: none"> ●児童の発達段階と題材のねらいに即した教材を選択し、学習を進めるうえで有益な写真や絵譜、譜例なども示しました。
	主体的・対話的で深い学び	<ul style="list-style-type: none"> ●「主体的・対話的で深い学び」を実現するために参考となる学びの手順や工夫の視点を具体的に示しました。
	伝統と文化の尊重	<ul style="list-style-type: none"> ●我が国の伝統的な音楽に関わる題材を配置し、それらに親しみながら、表現したり鑑賞したりする学習を進められるようにしました。(P.54～61)
	国際理解	<ul style="list-style-type: none"> ●国際理解教育や外国語の学習との関連から、英語の歌を掲載しました。(P.36)
	(共通事項)	<ul style="list-style-type: none"> ●教材を指導する際の目安となる、[共通事項]に示された音楽を形づくっている要素をページ端に表示し、「ふり返りのページ」でも一覧できるようにしました。
	その他	ICT 機器の活用
特別支援教育への配慮		<ul style="list-style-type: none"> ●特別支援教育の専門家から助言を得て、楽譜や文字の配置や見せ方を工夫し、見やすく分かりやすい紙面になるよう配慮しました。 ●色覚問題の専門家から助言を得て、色の見分けがつきにくい児童の色覚特性にも配慮した配色を採用しました。また、学習に必要な情報が、色の違いのみに依存しないよう工夫しました。
文字・印刷・製本・用紙		<ul style="list-style-type: none"> ●文字は見やすく、過度にデザイン的にならないよう配慮しました。 ●印刷は鮮明で、環境に配慮した植物油インキを使用しています。 ●製本はページどうしを接着した丈夫で長持ちする様式にしました。針金を使わないため、安全性にも優れています。 ●用紙は、児童の持ち運びを考慮し、軽量化した再生紙を使用しています。

2. 対照表

図書の構成		学習指導要領の内容																	
ページ	教材名 ◎…鑑賞教材 / (共)…共通教材	歌唱					器楽					音楽づくり				鑑賞		〔共通事項〕	
		ア	イ	ウ			ア	イ	ウ			ア	イ	ウ	ア	イ	ア	イ	
				(ア)	(イ)	(ウ)			(ア)	(イ)	(ウ)								(ア)
8	Believe	○	○	○	○	○												○	
10	すてきな一歩	○	○	○	○	○												○	
12	(共) こいのぼり	○	○		○	○												○	
16	小さな約束						○	○	○	○	○	○						○	
18	いつでもあの海は	○	○		○	○												○	
20	◎アイネ クライネ ナハトムジーク																	○	○
24	リボンのおどり		○	○			○	○	○	○	○	○						○	○
26	◎祝典序曲																	○	○
30	打楽器でリズムアンサンブル												○	○	○	○	○	○	○
34	静かにねむれ		○	○		○		○		○								○	
36	こげよ マイケル	○	○	○	○	○												○	
38	「静かにねむれ」の和音で 旋律づくり												○		○		○	○	
40	夢の世界を	○	○	○	○	○												○	○
42	キリマンジャロ						○			○	○	○						○	
44	◎待ちぼうけ																	○	○
50	(共) 冬げしき	○	○		○	○												○	
52	(共) スキーの歌	○			○	○												○	
54	◎春の海																	○	○
56	(共) 子もり歌	○	○		○													○	
58	◎ソーラン節／◎かりぼし切り歌																	○	○
62	威風堂々						○	○	○	○	○	○						○	○
64	それぞれの空	○	○	○	○	○												○	
66	歌いつごう 日本の歌	○	○	○	○	○												○	
68	マイバラード	○	○	○	○	○												○	
70	地球へ	○	○	○	○	○												○	
72	君は虹を見たかい？	○	○	○	○	○												○	
73	小さな鳥の小さな夢	○	○	○	○	○												○	
73	失われた歌						○	○	○	○	○	○						○	
74	大空がむかえる朝	○	○	○	○	○												○	
75	ほたるの光	○	○	○	○	○												○	
76	ギャラクシー～銀河をこえて～						○	○	○	○	○	○						○	
78	アフリカン シンフォニー						○	○	○	○	○	○						○	
86	国歌「君が代」	○	○	○	○	○												○	

編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-86	小学校	音楽	音楽	第5学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
27 教芸	音楽 504	小学生の音楽 5		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
84	ステップアップ 休符と名前	1	第3 指導計画の作成と内容の取扱い 2(9)に関連して、音楽に関わる用語について、より知識を広げる。	0.25 ページ
			合計	0.25 ページ

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容